

平成27年度 燕市西蒲原郡図工部 活動報告

部長 田中 武彦

1 研究主題

子どもの思いをかきたてる題材の工夫



2 研究の概要

研究主題をもとに第1回目の実技研修会では、「独自性を追い求めつくりたいものをつくりだす喜びを味わう」授業の実際を外山先生から模擬授業形式で行っていただいた。様々な情報から物語の世界を創り、子どもたちがイメージを膨らませながら、思いを伝える表し方を考え、つくり変えたり付け加えたりして、つくりたいものをつくりこんでいく姿を目の当たりにすることができた。また、第2回目の研究授業では、外山先生の模擬授業を生かして、ストーリー性のある単元をつくり、子どもたちの思いをかきたてる授業の在り方について、授業参観を通して協議した。

3 研究の実際

(1) 第1回 実技研修会

①講師 三条市立裏館小学校 教諭 外山高宏様

②研修内容

「闘え！ヒンドゥルダッシュ悪の大魔王」では、粘土とビー玉で悪の大魔王を作った。「怪盗ブレイク団の華麗なるミドルミー」では、絵の具を使って自由に絵を作り上げた。外山先生の創作話にかきたてられ、段階的に提示される情報から創作意欲が高まった。作品制作途中では、作り上げた自分の作品への思いを参加者同士で語り合う場があり、必要不可欠な鑑賞の場となった。



(2) 第2回 研究授業

①授業者 弥彦村立弥彦小学校 藤城貴子教諭

②題材名 「おって たてたら」

(1. 2年上 p 20)

③思いをかきたてるための手立て

- ・紙の国から来た「ペーパーくん」(指人形)を登場させ、夢ランドをつくって招待するというストーリー性のある単元を設定する。
- ・紙の国の仲間たち(自分で描いた自分自身のペープサート)を使って、自分や友だちのつくった「夢ランド」で遊ぶかかわり合いを大切にした、体験的な鑑賞活動を設定する。



4 成果と課題

- 実技研修会は粘土と絵画の2つの領域で、題材の工夫の大きなヒントを得ることができた。
- 研究授業では、ストーリー性は子どもたちの創作意欲を高め、ペーパーくんが出てきて子どもたちは楽しく活動に取り組んでいた。かかわり合いでは、自分のペープサートで自分や友だちの作品で遊ぶ姿が見られ、楽しそうだった。鑑賞の活動で、「しかけを見てこよう。」「友だちに説明しよう。」などとねらいをもっと明確にすれば、さらに子どもたちの創作意欲の向上につながったかもしれない。